

# チーム支援により資金調達が実現し、経営改善の第一歩を踏み出す！

MSフードプランニング株式会社（兵庫県）

水産加工食品販売業。魚の骨取り加工技術を活かした商品開発で日本の「魚食文化」再興を促す。

## 1. 相談のきっかけ

- ・恒常的な赤字体質
  - ・債務超過
  - ・銀行取引の疎遠化
  - ・資金繰り悪化
- ↓
- ・神戸商工会議所へ相談
  - ・担当相談員が事態の重さを判断
- ↓
- ・兵庫県よろず支援拠点と連携(チーム支援)

## 2. 課題整理・分析

### 【課題1】 銀行取引改善

- 自社分析が不十分
- 事業説明が不十分

### 【課題2】 収益性改善

- 過剰な在庫負担
- 商社への手数料負担

## 3. 解決策の提案

### 【提案1】経営改善計画書を策定する。

- 自社の強みを再確認
- ビジネスモデルを明確化

### 【提案2】強みを活かした商品開発で収益性改善を図る。それと並行して経営革新計画を申請する。

- 製品力の強化
- 資金調達枠の確保



## 4. 成果

### 【成果】

- ・経営改善計画書を策定し、取引銀行への十分な説明を実施した。
- ・取引銀行および保証協会からの理解が得られ、協調融資が実行された。
- ・同社の強み(仕入力と魚の骨抜き加工技術)を再確認することが出来た。
- ・経営革新計画を申請し、兵庫県知事より同計画の承認を得た。

### 【プロセス】

- ・兵庫県よろず支援拠点、神戸商工会議所、保証協会をメンバーとしたチームを編成した。
- ・支援機関の役割分担を決定し、密度の濃い連携支援を実施した。
- ・経営改善計画書のフォーマット提供および作成の支援を実施した。
- ・同社経営幹部(4名)と上記支援チーム、取引銀行(1名)、(公財)ひょうご産業活性化センター(1名、当該銀行出向者)でミーティングを実施した。
- ・取引銀行に同社の実態を伝える良い機会(場)の提供が出来た。(書面では現しきれない社長の熱い想いを直接伝えられた)



仕入力と加工技術を活かした「骨を取った魚の味噌漬け」